

国語の授業で作った新聞を互いに読み合う児童



宇宿小学校（鹿児島市）

## テストで成果現れる

実践校4年目。各学年にNIE担当の教員を置き、今年度で取り組んだ。2016年度は授業での新聞活用力を入れた。昨年10月には研究授業を実施。3年生国語で、物語の初めと終わりの場面を、「5W1H」に気を付けてまとめ、感想を添えて新聞にした。異なる場面を比べて書くことで、根拠を示し意見を伝えられるようになった。NIE担当の山之内勲 教諭(34) 取材当時 興味がある記事への意見を書く「NIEコンクール」や家庭で記事を題材に語り合う「ファミリーフォーカス」なども実践。17年度は実践校を外れるが、山之内教諭は「これからも全校で取り組みたい」と話した。

(上山智子)

## かごしま

## NIE実践校



大隅南小学校（曾於市）

## 学習内容理解に活用

実践校3年目の大隅南小学校では、全3クラスで授業に新聞を使った。1、2年生のクラスは、国語で、「つゆつゆ」や「あざあ」など雨の音を新聞から集め、イメージを比較し表現を覚えた。3、4年生の社会では、記事に出てくる地名を抜き出して、地図上のどこにあるかを探した。5、6年生の国語では、図表、グラフが使われた記事を読んで、文章と組み合わせることで理解が深まる。

「わたしたちふるさと発見隊」では、学校で取り組む竹だいの歴史を見ることが執筆者の執筆。掲載後の反響も多く寄せられ、児童は新聞を身近に感じるようになったという。

(園田尚志)

新聞記事を使った授業に取り組む大隅南小学校の児童